

## 特別講演と新人演奏会 ( 7 )

# 『今井信子 ブラームスを語る』

■特別講演 今井信子 (ジュネーブ音楽院教授、アムステルダム音楽院教授、上野学園大学教授)  
司会 西原稔 (桐朋学園大学教授・JBS顧問)

■演奏

- ・ブラームス / ヴィオラソナタ 第1番 へ短調 Op.120-1  
Brahms: Sonata for viola and piano in F minor Op.120-1
- ・ブラームス / ヴィオラ三重奏曲 イ短調 Op.114  
Brahms: Trio for viola ,cello and piano in A minor Op.114

V a 原麻理子 (桐朋学園大学卒、2009年ジュネーブ音楽院リストラディプロマを首席卒。ジュピターカルテットメンバーで活動。現在はケルン音楽院に在籍し国内外で演奏活動をしている)

V c 植木昭雄 (ゲスト 桐朋学園大学よりリヨン国立高等音楽院、インディアナ大学留学。  
1995年日本音楽コンクール入選。2002年第一回斉藤秀雄メモリアル基金賞受賞)

Pf 有吉亮治 (東京芸大よりジュネーブ音楽院に留学。2000年第69回日本音楽コンクール第1位  
2010年原麻理子氏とデュオリサイタル開催。2011年より東京芸大非常勤講師)



今井信子  
Nobuko Imai



原麻理子  
Mariko Hara



植木昭雄  
Akio Ueki



有吉亮治  
Ryoji Ariyoshi



西原稔  
Minoru Nishihara

# 2012年5月20日(日) 2pm

ヤマハ銀座店(銀座7丁目) 6F コンサートサロン 90席

全自由席 一般¥4000 学生¥2500

主催 日本ブラームス協会  
共催 (株)ヤマハミュージック東京 銀座店  
後援 ドイツ連邦共和国大使館  
ハンブルク国際ブラームス協会、  
アメリカブラームス協会

チケット 東京文化会館チケットサービス Tel 03-5685-0650

HP <http://www3.ocn.ne.jp/~jbs>

お問合せ 日本ブラームス協会 Tel/Fax 03-3990-0611



## ●今井信子 (特別講演)

120227

東京生まれ。桐朋学園大学卒業、イエール大学、ジュリアード音楽院を経て、1967年ミュンヘン国際コンクール、1968年ジュネーヴ国際コンクールにそれぞれ最高位入賞。1970年西ドイツ音楽功労賞を受賞。1990年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会、同年小澤征爾サイトウ・キネン・オーケストラのソリストとしてザルツブルク音楽祭に出演など、世界の桧舞台で活躍を続けている。室内楽活動も積極的に行っており、マールボロ、ロッケンハウス等世界各地の音楽祭にも頻りに招かれている。1995年から96年にかけて東京・ロンドン・ニューヨークの3都市にわたって開催された「インターナショナル・ヒンデミット・ヴィオラ・フェスティバル」では音楽監督をつとめ世界の注目を集めた。1993年エイボン女性芸術賞ならびに文化庁芸術選奨文部大臣賞、1994年京都音楽賞、1995年モービル音楽賞、1996年には毎日芸術賞とサントリー音楽賞を受賞。2003年紫綬褒章受章。著書に「憧れ ヴィオラとともに」(春秋社)がある。現在はスイスに在住し、ジュネーヴ音楽院、アムステルダム音楽院、クロンベルク・アカデミー、および上野学園大学の教授を務めている。

## ●原麻理子 (ヴィオラ)

桐朋女子高等学校音楽科を経て2007年同大学を卒業。2005年ヴィオラに転向。2006年より今井信子氏のもとジュネーブ音楽院に学び、2009年満場一致の首席で卒業。同時に最高位「Albert Lullin」賞を受賞。2010年よりケルン音楽院にて研鑽をつむ。2000年江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第1位。2006年ブラームス国際コンクール、ヴィオラ部門2位。2009年Duo Romandeとしてジネッティ国際室内楽コンクールファイナリスト。ジュピターカルテットジャパンでは東京クワルテット、Gabor Takacs=Nagy氏に師事。これまでヴィオラを今井信子、Antoine Tamestit、Steven Isserlis各氏に師事。期待の若手ヴィオリストとしてVerbier、Kuhmo、Luzern等の音楽祭、またWigmore Hall、オランダ各地、ルーマニア、ポルトガル、台湾、日本国内で演奏。2008年よりピアニスト有吉亮治とDuo Romandeを結成、国内外で演奏会に出演。2007年、Hugo de senger Foundation 受賞。2008年よりロームミュージックファンデーション奨学生。2012-13シーズン、ドルトムントのモーツァルト協会のYoung Artistに抜擢される。モーツァルト協奏交響曲などの演奏を含みドイツでの活動を広げる。日本ブラームス協会にはジュピターカルテットとして2006年河口湖「湖畔のブラームス」に2007年No128冬例会に出演する。また年会誌には海外通信を寄稿している。

## ●植木昭雄 (チェロ)

桐朋学園大学付属高校を経て、桐朋学園大学に入学。1994年第4回日本室内楽コンクール入賞、大学在学中の1994年リヨン国立高等音楽院に留学。1995年マンチェスターチェロフェスティバルに招かれ参加。同年第64回日本音楽コンクールチェロ部門入選。1996年ラヴェット国際室内楽フェスティバルにリヨンカルテットとして招待され3夜連続演奏会を行う。1997年霧島国際音楽祭にて特別奨励賞を受賞。1998年リヨン国立高等音楽院を卒業しディプロマを取得。1999年より1年間インディアナ大学に留学。2000年東京文化会館主催の新進音楽家デビューコンサートに出演。2001年津田ホールにてデビューリサイタルを行い好評を博す。2002年ソニー音楽芸術振興会より第一回斎藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2004年東京フィルハーモニー交響楽団とプフィッツナーのチェロ協奏曲第3番を日本初演。宮崎国際音楽祭、サイトウキネン・フェスティバルなど数々の音楽祭にも参加している。2005年に結成された室内アンサンブル「パヴィメント・ジャパン」のメンバー。これまでにチェロを松波恵子、イヴァン・シフォロー、堤剛の各氏に師事。室内楽を原田幸一郎、ラヴェル・カルテット、練木繁夫の各氏に師事。

## ●有吉亮治 (ピアノ)

宮崎県出身。3歳よりピアノを始め、清水嘉子、故谷康子、田辺緑の各氏に師事。幼少より数々のコンクールに優勝。1998年東京芸術大学に入学し迫昭嘉氏に師事。在学中2000年日本音楽コンクール第1位。併せて野村賞、井口賞、河合賞を受賞。2002年東京文化会館(小)にて日本ショパン協会主催『有吉亮治ピアノリサイタル』に出演。同大ホールにて読売新人演奏会に出演。2003年よりジュネーブ音楽院に留学しパスカル・ドヴォワイヨン氏に師事。2004年ヨルダン日本大使館に招聘されヨルダンにてリサイタルに出演。2006年カントウ国際ピアノコンクール第2位。アリシア・デ・ラローチャ(アンドラ)国際ピアノコンクール第3位。2008年ジュネーブ日瑞協会主催コンサートにてヴィオラ今井信子氏と共演。同年よりジャン=クロード・ペエヌティエ氏に師事。2009年ジネッティ国際室内楽コンクールファイナリスト。マントヴァ、ヴェローナにてリサイタルに出演。JTアートホールにてヴィオラ原麻理子氏とデュオリサイタル開催。これまでに東京シティーフィル、東京交響楽団等と共演。2011年より東京芸術大学音楽学部器楽科ピアノ非常勤講師。

## ●西原稔 (司会)

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授。19世紀音楽と音楽社会史を専門とする。著書は「音楽の社会史」(音楽之友社)、「聖なるイメージの音楽」(音楽之友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「<楽聖>ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「音楽史ほんとうの話」(音楽之友社)、「ブラームス」(音楽之友社)。その他翻訳、監修など。ブラームス研究と並んで、シューマンのピアノ作品の成立史を研究、その研究成果は出版が予定されている。日本ブラームス協会顧問として企画運営のアドバイスをするとともに「レクチャー&コンサート」を担当、講演録を年会誌「赤いほりねずみ」に発表している。

JBS No. 138 冬例会 ロマンティック・Jブラームス(7) <ブラームスと友人作曲家ライネッケ>

・プレトク/ブラームスとライネッケ 西原稔(JBS顧問)

・ライネッケ/ピアノ四重奏曲第1番 変ホ長調 Op.34 ・ブラームス/ピアノ四重奏曲第1番 ト短調 Op.25

Vn青木調(JBS会員 N響) Va佐々木亮(ゲスト N響首席) Vc林峰男(JBS監督) P島田彩乃(ゲスト)

2012. 12. 16(日)2pm 青山ドイツ文化会館 OAGホール チケット販売 東京文化会館TS(9月~)

企画・制作 日本ブラームス協会 JBS (顧問/西原、会長/羽木、幹事/佐藤、重成、杉田、山田)